

事業報告

1. 講演会、公開講座等の実施に関する事業

(定款第4条第1項第1号事業)

(1) 講演会の実施

① 常例午餐会

毎回当社社員を対象とし、原則として8月を除く毎週金曜日、当社大食堂において、各界の名士を講演者として招き、常例午餐会として会食後に約1時間実施。

() 内参加者数

本年度1～11月は、ネット配信（無聴衆）のみによる開催とし、12月はネット配信に併せ、人数制限による有人開催を実施。計42回開催。

1月22日(金)「コロナ禍は人類に何をもたらしたか? (150名)

人類進化史における疫病の意味」

総合研究大学院大学学長

理学博士 長谷川 真理子さん

1月29日(金)「現在の中国情勢と今後の展望」 (164名)

前・駐中華人民共和国特命全権大使 横井 裕氏

2月5日(金)「慶應教育と半沢直樹」 (189名)

TBSテレビドラマ制作部ディレクター(役員待遇) 福澤 克雄氏

2月12日(金)「トランプ後の米国と世界」 (194名)

ジャーナリスト 木村 太郎氏

2月19日(金)「現代民主政を考える」 (185名)

東京大学名誉教授

法学博士 佐々木 毅氏

2月26日(金)「アメリカ太平洋軍と日米同盟」 (185名)

朝日新聞東京本社 国際報道部記者 梶原 みずほさん

- 3月5日(金)「2021年度の内外経済の展望」 (188名)
(株)三菱総合研究所 シンクタンク部門副部門長
(兼)政策・経済センター長 武田洋子さん
- 3月12日(金)「富岳：世界初・四冠スパコンの世界トップ (162名)
技術と、そのコロナウィルスとの戦い」
国立研究開発法人理化学研究所
計算科学研究センター センター長 博士(理学) 松岡 聡 氏
- 3月19日(金)「中国の民族問題と日本」 (177名)
静岡大学人文社会科学部教授
文学博士 楊 海英 氏
- 3月26日(金)「ニュートリノと重力波、そして日本の基礎科学」 (145名)
東京大学卓越教授・特別栄誉教授
東京大学宇宙線研究所長 理学博士 梶田 隆章 氏
- 4月2日(金)「文在寅大統領の下で韓国情勢、対北朝鮮 (204名)
関係、日韓関係は大丈夫か」
元・駐韓国特命全権大使 武藤 正敏 氏
- 4月9日(金)「デジタル革命の先にある新しい社会」 (184名)
慶應義塾大学医学部教授
保健学博士 宮田 裕章 氏
- 4月16日(金)「現代ロシアと国際関係」 (195名)
神奈川大学特別招聘教授
法政大学名誉教授 法学博士 下斗米 伸夫 氏
- 4月23日(金)「日本のこれから」 (194名)
大阪大学名誉教授
文学博士 加地 伸行 氏
- 5月7日(金)「ニューノーマル時代のスポーツの役割」 (164名)
スポーツジャーナリスト 二宮 清純 氏

- 5月14日(金)「中国の経済・政治情勢と米中・日中関係」 (195名)
中国問題評論家 石 平 氏
- 5月21日(金)「ウィズコロナ・アフターコロナの経済・社会」 (183名)
早稲田大学大学院教授 川 本 裕 子さん
- 5月28日(金)「挑戦しつづける力：現代美術界の新潮流」 (141名)
森美術館 館長 片 岡 真 実さん
- 6月4日(金)「日韓、日朝関係は改善するか？
韓国と北朝鮮の動向を展望する」 (197名)
コリア・レポート編集長 辺 真 一 氏
- 6月11日(金)「ステークホルダー資本主義と共有価値の創造(CSV)経営」 (168名)
アフラック生命保険(株)代表取締役会長
法学博士 チャールズ・レイク 氏
- 6月18日(金)「スポーツの力と果たすべき役割」 (159名)
筑波大学体育系教授
日本オリンピック委員会理事 山 口 香さん
- 6月25日(金)「奇跡の発酵」 (187名)
東京農業大学名誉教授
農学博士 小 泉 武 夫 氏
- 7月2日(金)「香港「20世紀の龍宮城」は何処へ」 (170名)
亜細亜大学教授 遊 川 和 郎 氏
- 7月9日(金)「語られなかった皇族たちの真実」 (204名)
作家 竹 田 恒 泰 氏
- 7月16日(金)「進藤大典の世界ゴルフ紀行」 (177名)
ゴルフ解説者／PGATOURアンバサダー
元・松山英樹プロ 専属キャディ 進 藤 大 典 氏

- 7月30日(金)「アメリカの経済政策の変容と日本」 (157名)
プリンストン大学経済学部教授
Ph.D. 清 滝 信 宏 氏
- 8月は暑中につき「休 会」
- 9月3日(金)「デジタル時代の国家安全保障」 (162名)
同志社大学特別客員教授
元・内閣官房副長官補 兼 原 信 克 氏
- 9月10日(金)「我が国の最新国防事情」 (183名)
参議院議員 自由民主党外交部会長 佐 藤 正 久 氏
- 9月17日(金)「津田梅子と「アメリカ」、そして国際協力の輪」 (155名)
津田塾大学名誉教授
元・津田塾大学学長 飯 野 正 子さん
- 9月24日(金)「世界から見た幸せな生き方とは」 (163名)
京都精華大学学長
博士(工学) ウスビ・サ コ 氏
- 10月1日(金)「ニューノーマルをどう生きるのか? どう活かすのか? 新しい国際化への対応力をアップしましょう!」 (167名)
(株)ジャーマン・インターナショナル
代表取締役社長 ルース・マリー・ジャーマンさん
- 10月8日(金)「ウイルス療法—がん治療の新時代」 (145名)
東京大学医科学研究所教授
医学博士 藤 堂 具 紀 氏
- 10月15日(金)「ポスト菅政権の行方」 (175名)
政治ジャーナリスト 石 橋 文 登 氏
- 10月22日(金)「今の若者の頭の中~昨日の常識はもう時代遅れ!?~ (バイオリン演奏付)」 (185名)
バイオリニスト 廣津留 すみれさん

- 10月29日(金)「9.11から20年後のアフガニスタン」 (152名)
慶應義塾大学大学院
政策・メディア研究科教授 田中浩一郎氏
- 11月5日(金)「令和日本のデザイン (147名)
—「国家の尊厳」をめぐる—」
日本大学危機管理学部教授
博士(文学) 先崎彰容氏
- 11月12日(金)「実人生と交差する時間 ノンフィクション (151名)
を読む愉しみ」
ノンフィクション作家 佐々涼子さん
- 11月19日(金)「共和政と独裁政～世界史の中のローマ人～」 (149名)
東京大学名誉教授
博士(文学) 本村凌二氏
- 11月26日(金)「最新の政治経済情勢について」 (174名)
嘉悦大学ビジネス創造学部教授
博士(政策研究) 高橋洋一氏
- 12月3日(金)「脳を鍛えて認知症を予防する」 (194名)
東北大学加齢医学研究所所長・教授
医学博士 川島隆太氏
- 12月10日(金)「「はやぶさ2」と日本の太陽系探査」 (166名)
JAXA宇宙科学研究所副所長・教授
理学博士 藤本正樹氏
- 12月17日(金)「人工知能(AI)の真実」 (193名)
(一財)交詢社 理事長 安西祐一郎君

②交詢講座

原則として年4回、当社社員を対象とし、当社事業委員会主催により、各界の専門家を招き、当社会議室並びに特別専用室において、勉強会として講演と質疑応答を交え、午後6時より約1時間半程度実施。

本年度は新型コロナウイルス感染拡大を受け、全4回の内1回を、参加人数を50名以下に制限し開催。

() 内参加者数

12月14日 (火) 「私が見る日中友好」 (44名)

小説家／日本大学藝術学部教授

ヤン
楊

仁
逸 氏

(2) 公開講座の実施

① 公開医療講座（幸齢化を支える医学シリーズ）

原則として年4回、中央区在住・在勤者を対象に、当社事業委員会主催で中央区「中央区民カレッジ」の連携講座として、中央区築地社会教育会館において慶應義塾大学医学部の先生等その分野で権威のある先生を講師に招き、各専門分野について講演と質疑応答を交え、約1時間半実施。広報として、「区のお知らせ中央」の3月号、8月号に開催予定を掲載。併せて毎回実施日に先がけて参加勧誘を兼ねた開催案内を作成し、当社より既受講者に、中央区区民部 文化・生涯学習課より中央区の各公共施設に対し配布。

また、同内容を中央区公式HP、当社HPに掲載し周知を図る。本年度は新型コロナウイルス感染拡大を受け、全4回の内以下の通り2回を開催。

実施日	演 題	講 師	参加者数
4月14日(水)	最も身近で、危険な不整脈「心房細動」	慶應義塾大学医学部 内科学教室（循環器内科） 高月 誠司 准教授	41名
11月17日(水)	頼れる外科医の見分け方—その手術まかせられますか?—	慶應義塾大学医学部 外科学（呼吸器） 浅村 尚生 教授	38名

② 公開医療講座冊子の発行

昨年度ならびに本年度の公開医療講座の中止を受け、次回発行は令和5年度を予定。

③ 公開文化講座

例年通り年2回春・秋の講座を企画立案したが、新型コロナウイルス感染拡大を受け2回とも中止。

(3) オープンフォーラムの開催について

一般公募の方々を対象に、当社主催、産経新聞社後援により、交詢社オープンフォーラム第十二回を開催。今回は新型コロナウイルス感染拡大を受け、初めてオンラインLIVE配信のみで開催。なお、講演録は令和4年2月発行の交詢雑誌に掲載の予定。

実施日	テーマ	講演者等	視聴者数
11月7日(日)	「デジタル革命下における民主主義と専制主義の行方～日本の進むべき道」	①講演： 櫻井よしこ氏 ②パネルディスカッション： (パネリスト) 北岡 伸一氏 武田 洋子氏 松川 るい氏 村井 純氏 (コーディネーター) 当社 安西理事長	893名

2. 機関誌等の発行に関する事業

(定款第4条第1項第2号事業)

(1) 交詢雑誌の発行

講演会・公開講座の内容、その他当社の事業活動の広報をはかるため、原則として8月を除き毎月1回、年11回発行。発行部数は、毎回約2,400部。

3. 各種文化事業の実施ならびに援助に関する事業

(定款第4条第1項第3号事業)

(1) 「音楽と食事の夕べ」の実施

計画では、年2回夏・冬、当社社員ならびにそのご家族等を対象として、当社大食堂に於て夕食会ののちアーティストによる約1時間のコンサートを開催としたが、本年度は新型コロナウイルス感染拡大を受け、夏期(7月予定分)は中止とし、冬期のみ開催。

実施日	出演者	参加者数
12月18日(土)	TSUKEMEN (アンサンブル・ユニット)	60名

(2) 「グランド・コンサート」の実施

新型コロナ感染対策の為、参加人数を大幅に絞り、当社社員ならびにそのご家族等を対象として、当社大食堂に於て約1時間、以下の通り開催された。同時にネット配信を実施。

実施日	出演者	参加者数	ネット視聴数
10月25日(月)	福間洸太郎さん(ピアニスト)	59名	22名

4. 施設の管理運営及び貸付けに関する事業

(定款第4条第1項第4号事業)

(1) 交詢ビルディング

当社の区分所有部分(7階~10階)について、倶楽部施設として当社社員等に供すると共に、運用床を三井不動産(株)に一括貸付。管理業務も同様に三井不動産(株)に委託。

(2) 倶楽部施設の運営

倶楽部内の諸施設を当社社員等の使用に供すると共に、倶楽部食堂は(株)パレスホテルに運営を業務委託し、当社社員ならびに同伴者等に対し食事の提供を実施。また新型コロナウイルス感染拡大に対処すべく様々な防止策を設け運営。

5. 諸委員会の開催

(定款第4条第1項第5号事業)

定款第4条の諸事業を実施するため、理事会・評議員会に加え、下記の諸委員会を月例もしくは必要の都度開催。

事業委員会
食堂委員会

総務委員会
文化委員会

入社選考委員会

以上